

- 問1 戦後日本の外交と経済発展を象徴する4つの事象（サンフランシスコ平和条約、国際連合加盟、東海道新幹線の開通、石油危機）について、発生した時期が古い順に並べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 日本の国際連合加盟 →
サンフランシスコ平和条約の調印 →
石油危機の発生 →
東海道新幹線の開通 | 2. 石油危機の発生 →
東海道新幹線の開通 →
日本の国際連合加盟 →
サンフランシスコ平和条約の調印 | 3. サンフランシスコ平和条約の調印 →
東海道新幹線の開通 →
日本の国際連合加盟 →
石油危機の発生 | 4. サンフランシスコ平和条約の調印 →
日本の国際連合加盟 →
東海道新幹線の開通 →
石油危機の発生 |
|---|---|---|---|
- 問2 1970年代に起こった石油危機（オイル・ショック）が、その後の日本経済や社会に与えた影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 原油価格の下落によって製造コストが下がり、さらなる景気拡大のきっかけとなった | 2. 物価が急騰して経済が混乱し、戦後長く続いてきた高度経済成長が終わりを迎えた | 3. エネルギー資源を確保するために、石炭を主力とする重化学工業への回帰が進んだ | 4. 財政に余裕が生まれたことで、国の借金にあたる公債の発行が完全に停止された |
|---|--|--|---|
- 問3 1946年11月3日に公布された日本国憲法と、その後の国際社会への復帰に関する記述として、正しいものはどれですか。（2020年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本国憲法は、国際連合への加盟が認められたのと同じ年に、その記念として公布された。 | 2. 日本国憲法は、サンフランシスコ平和条約が締結されるよりも前の占領下に公布された。 | 3. 日本国憲法は、沖縄の日本復帰を定めた条約と同時に、日本の最高法規として公布された。 | 4. 日本国憲法は、サンフランシスコ平和条約によって日本が主権を回復した直後に公布された。 |
|--|---|--|---|
- 問4 戦後日本の経済発展の過程において、1950年代半ばから続いた高度経済成長が終焉を迎え、経済の仕組みが「安定成長」へと変化する直接的な原因となった出来事はどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 第4次中東戦争を背景に原油価格が急騰し、物価の上昇や消費の混乱を招いた石油危機（オイル・ショック）。 | 2. 1950年に朝鮮半島で始まった戦争により、米軍から大量の物資発注を受けた朝鮮特需。 | 3. 1990年代初頭に、投機的な動きで膨れ上がっていた株価や地価が急激に下落したバブル経済の崩壊。 | 4. サンフランシスコ平和条約と同時に締結された日米安全保障条約に基づき、日本が国際社会に復帰したこと。 |
|---|--|--|--|
- 問5 第二次世界大戦後の民主化政策の一環として行われた改革のうち、政府が地主から小作地を強制的に買い上げ、それを実際に耕作していた小作人に安く売り渡すことで、自作農を急増させた政策の名称として正しいものを選択してください。（2021年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 農地改革 | 2. 地租改正 | 3. 殖産興業 | 4. 国家総動員法 |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問6 冷戦期に東ドイツ政府がベルリンの境界線を封鎖し、高い壁を構築した主な目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|
| 1. フルシャワ条約機構の司令部をベルリン市内に設置するため | 2. 東ドイツから西側へと労働力や市民が流出することを阻止するため | 3. ポツダム宣言に基づくナチス勢力の残党を捕らえ、処罰するため | 4. 西ベルリンを東ドイツの領土として完全に統合するため |
|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|
- 問7 1960年代の日本における高度経済成長期には、工業化の進展とともに深刻な環境破壊が発生しました。この時期に各地で起こった四大公害裁判が、その後の社会に与えた影響として正しい説明はどれですか。（2026年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 日米安全保障条約の改定に反対する学生たちが、環境問題を条約廃棄のための主要な論点として位置づけ、全国の工場を封鎖する実行行使に出た。 | 2. 住民が企業に対して損害賠償を求める裁判を起こし、企業の責任を認める判決が相次いだことで、政府による環境対策の法整備や環境庁の発足につながった。 | 3. 全国水平社が組織され、差別問題の解決とともに工場排水の浄化を求める大規模なストライキを実施したことで、公害問題は一気に解決へと向かった。 | 4. 平塚らいてうを中心とした女性たちが、生活環境の改善とともに参政権の拡大を訴える運動を展開し、全国的な公害規制条例の制定を実現させた。 |
|---|--|---|---|
- 問8 第二次世界大戦後の日本では、農村の民主化を進めるために農地改革が行われました。この改革において、政府が地主から強制的に買い上げた土地を小作農に安く売り渡したことで生じた、農村社会の変化として最も適切なものはどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 労働組合法が制定されたことで、農民の賃金が大幅に上昇した | 2. 地主の権限が強化され、大規模な農業経営が推奨された | 3. 公職追放によって、土地を失った地主が政治から排除された | 4. 自分の土地で農業を行う自作農が大幅に増加した |
|---------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---------------------------|
- 問9 1951年のサンフランシスコ平和条約締結後、日本は周辺諸国との国交を順次回復・正常化させていきました。これら主要な外交上の出来事を、年代の古い順（時系列）に並べたものとして正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日米安全保障条約の署名 →
日中共同声明の調印 →
日韓基本条約の締結 | 2. 日米安全保障条約の署名 →
日韓基本条約の締結 →
日中共同声明の調印 | 3. 日韓基本条約の締結 →
日米安全保障条約の署名 →
日中共同声明の調印 | 4. 日中共同声明の調印 →
日韓基本条約の締結 →
日米安全保障条約の署名 |
|--|--|--|--|
- 問10 1894年の日清戦争の結果、日本と清の間で締結された下関条約の内容として、正しい説明を選んでください。（2016年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|
| 1. 日本が独立を回復し、国際社会への復帰を果たすことになった。 | 2. 韓国の併合を国際的に認めさせ、樺太の南半分を日本領とした。 | 3. ドイツの山東省における権益を引き継ぎ、南洋諸島の委任統治権を得た。 | 4. 遼東半島の割譲や賠償金の支払いなどを認めた。 |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|
- 問11 1955年のバンドン会議（アジア・アフリカ会議）が、当時の国際情勢において果たした役割や背景についての説明として正しいものを選びなさい。（2023年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 日本が国際連合への加盟を認められるための外交交渉の場となった | 2. 第二次世界大戦の戦後処理を終結させるための講和会議として機能した | 3. 米ソのどちらの陣営にも属さない「第三勢力」としての連帯を深めた | 4. ヨーロッパの国々が経済復興を目指して経済共同体を創設するきっかけとなった |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
- 問12 1972年は、沖縄の日本復帰が実現した一方で、日本と中国との関係においても大きな転換点を迎えた年です。この年に当時の首相が中国を訪問し、日中共同声明に調印したことで実現したことは何か、次の中から選びなさい。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 中国が国際連合に加盟し、安全保障理事会の常任理事国となった。 | 2. 日本が経済協力開発機構（OECD）への加盟を認められた。 | 3. 日本と中華人民共和国との国交が正常化された。 | 4. 日本と中華人民共和国の間で平和友好条約が締結された。 |
|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------|-------------------------------|